

2019年9月12日

北海道大学

総長 名和 豊春 殿

総長職務代理 笠原 正典 殿

北海道大学教職員組合

執行委員長 山形 定



### 総長解任問題に関する情報開示と説明会開催を要求する

2019年7月初頭、名和総長の解任に関する新聞報道がなされました。教職員組合は、7月11日に「名和豊春総長の進退問題に関する情報開示の緊急要請」を出しましたが、これへの対応は2ヶ月以上経った現在まで一切ありません。

7月12日に総長職務代理より、教職員向けに「7月10日に本学総長選考会議が文部科学大臣に対して、総長の解任を申し出た」旨の通知がありました。これが情報開示であるとするなら、北海道大学は教職員に対して、事実を明らかにすることなく、総長選考会議の解任申し出および文部科学省の決定受け入れを強要することになります。教職員組合は、このような専制的な大学運営、大学の自治を自ら放棄する行為には断固反対します。

昨年末の総長職務代理の配置に始まったと考えられる大学執行部内の問題について、大学側から何らの説明もなく9ヶ月を超える時間が経過していることは、日頃説明責任を強調する大学の社会的信頼を大きく失墜させるものです。この間、多くの教職員が最も危惧していることは、このような異常な事態が教育・研究の遂行に支障をきたすことです。

北海道大学教職員組合は本件が事実に基づき公正に解決されることを求めます。教職員の英知を集めこの問題を解決し、社会的信頼を回復させるためには何があったのかを明らかにすることが不可欠です。限定的とはいえ教職員の意向投票も経て選出された総長に関する案件について、事実に基づき公正な解決を民主的に進めるためには事実の共有が不可欠です。

以上の立場から、北海道大学に対し、総長解任に関する一切の情報開示および教職員への説明会を9月中に行なうことを要求します。